

「中小企業向け脱炭素スクール」 温室効果ガス排出量削減計画の優良事例集

～事業活動温暖化対策計画書制度における計画策定に向けて～

環境農政局 脱炭素戦略本部室 事業者脱炭素グループ

目次

1	はじめに	1
2	事例集の見かた	2
3	各者の事例	3
■	合資会社あいざわ	3
■	あしがら環境保全株式会社	4
■	上代工業株式会社	5
■	亀井工業ホールディングス株式会社	6
■	医療法人社団守成会	7
■	有限会社高村工業所	8
■	南開工業株式会社	9
■	日崎工業株式会社	10
■	株式会社フリーデン	11
■	山岸株式会社	12

はじめに

世界的な脱炭素の流れを受け、大企業を中心にバリューチェーンやライフサイクル全体での脱炭素化の取組が進められています。

そうした中、神奈川県内においては、温室効果ガス排出量の約半分を産業部門及び業務部門からの排出が占めており、事業活動からの排出削減を進めることが重要です。また、2050年脱炭素社会の実現等に向けては、オールジャパン・オール神奈川で取組を進める必要があり、大企業のみならず中小企業の取組も重要となります。

一方で、県内中小企業の多くは、脱炭素経営の重要性を理解しながらも、リソースの問題、ノウハウの不足等から脱炭素化に未着手となっている現状が大きな課題となっています。

そこで、県では、中小企業の脱炭素化を促進するため、中小企業の取組状況を3つのステップに区分し、ステップに応じたきめ細かい支援を行う「**中小企業脱炭素支援パッケージ**」を構築し、その一環として、県内の中小企業の皆様向けに脱炭素経営のポイントや省エネ推進・再エネ導入の実践的な手法を学び合う「**中小企業向け脱炭素スクール**」(全4回)を令和6年度に開催しました。

本事例集は、「中小企業向け脱炭素スクール」において、参加企業が策定した削減計画の中から、特に優良と考えられる事例を取りまとめたものであり、各企業の温室効果ガス排出量の削減目標のほか、目標達成に向けた方針や具体的な取組などが企業ごとに記載されています。

これから脱炭素経営に取り組もうとする中小企業の皆様にとって、本事例集が取組の一助となれば幸いです。

事例集の見かた

設立： 1948年1月
業種： サービス業
事業内容： クリーニング業、コインランドリー運営
本社所在地： 横浜市鶴見区北寺尾3-1-26
県内拠点： 本社、工場（横浜市）
URL： <http://www.miyuki.ne.jp/>
コメント： 省エネ推進の実践的手法を学ぶため、脱炭素スクールに参加しました。脱炭素化により、リスク回避やビジネスチャンス拡大に繋がりたいです

事業者の基本情報



計画の対象



工場等

計画期間

2024年度～2027年度

これまでの取組



- ・ 照明の作業エリアごとに点灯、消灯
- ・ 空調の作業エリアごとの温度管理



- ・ 高効率なエアコン、ボイラーへの更新する
- ・ 作業所や事務室を含めて蛍光灯をLEDへ更新



- ・ 人的配置や集配時間を見直し、作業者の作業時間を短縮（結果として各種エネルギーを削減）

計画の対象など

基準年度のCO2排出量



目標 (排出量・削減率)



基礎 排出量

180tCO2(▲3.0%)

調整後 排出量

173tCO2(▲3.0%)

基本方針

限りある資源を大切に。私たちは、かながわ脱炭素チャレンジ中小企業認証制度における脱炭素宣言に基づき取組を進めて参ります

具体的な取組



- ・ 月ごとにエネルギー使用量を把握



- ・ ボイラー・給湯器設備の配管の保温を行うことで熱効率を改善
- ・ 高効率なコンプレッサーに更新し、排出圧力を適正化

その他の取組

再生可能エネルギー由来電力の購入検討を進める

目標

基本方針 取組

アイコンについて



工場等(計画の対象)



運用改善



自動車(計画の対象)



投資改善



その他の改善

合資会社あいざわ

設立： 1948年1月
業種： サービス業
事業内容： クリーニング業、コインランドリー運営
本社所在地： 横浜市鶴見区北寺尾3-1-26
県内拠点： 本社、工場（横浜市）
URL： <http://www.miyuki.ne.jp/>
コメント： 省エネ推進の実践的手法を学ぶため、脱炭素スクールに参加しました。脱炭素化により、リスク回避やビジネスチャンス拡大につなげたいです。



計画の対象

工場等

計画期間

2024年度～2027年度

これまでの取組



- ・ 照明の作業エリアごとの点灯、消灯
- ・ 空調の作業エリアごとの温度管理



- ・ 高効率なエアコン、ボイラーへの更新
- ・ 作業所や事務室を含めて蛍光灯をLEDへ更新



- ・ 人的配置や集配時間を見直し、作業者の作業時間を短縮(結果として各種エネルギーを削減)

基準年度のCO2排出量

基礎 排出量

調整後 排出量

300

200

100

0

186tCO2

178tCO2

132

54

132

46

工場等

工場等

■電気

■都市ガス

目標
(排出量・削減率)

基礎 排出量

調整後 排出量

180tCO2(▲3.0%)

173tCO2(▲3.0%)

基本方針

限りある資源を大切に。私たちは、かながわ脱炭素チャレンジ
中小企業認証制度における脱炭素宣言に基づき取組を進め
て参ります

具体的な取組



- ・ 月ごとにエネルギー使用量を把握



- ・ ボイラー・給湯器設備の配管の保温を行うことで熱効率を改善
- ・ 高効率なコンプレッサーに更新し、排出圧力を適正化

その他の取組

再生可能エネルギー由来電力の購入検討を進める

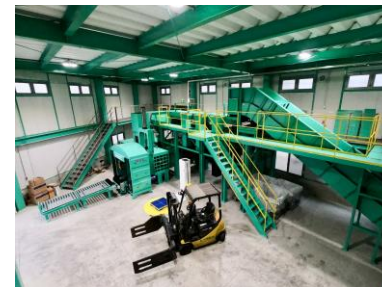
3

あしがら環境保全株式会社



あしがら環境保全

設立： 1968年4月
業種： サービス業
事業内容： 一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬、容器包装プラスチックの中間処理、
建屋内外の水回り及び関連設備の清掃・維持管理サービスの提供
本社所在地： 南足柄市狩野486
県内拠点： 本社及び開成事業所(開成町)
URL： <http://ashigara-env.jp/>
コメント： 当社としての脱炭素化事業に関して、知識の習得や計画の策定などを学べる
よい機会だと感じたので脱炭素スクールを受講しました



計画の対象



工場等



自動車

計画期間

2024年度～2027年度

これまでの取組



- 建物や事務スペースの照明や空調の効率的な運用など



- 照明の一部LED化など

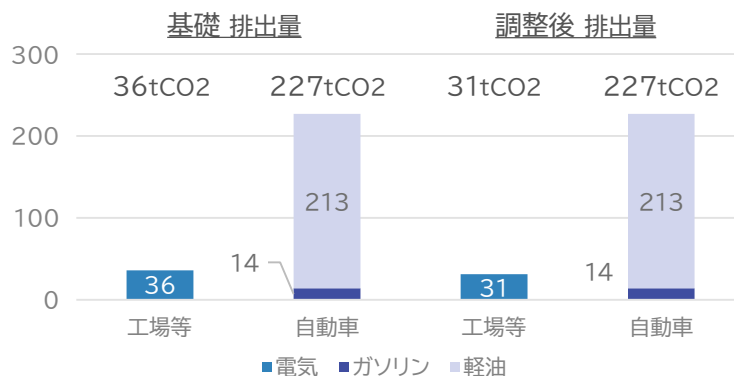


- 省エネ診断の受診

- 廃食用油からバイオディーゼル燃料を製造し、軽油代替燃料として重機等に活用

- カーボンニュートラル推進チームの設置

基準年度のCO2排出量



目標 (排出量・削減率)



基礎 排出量

34tCO2(▲5%)

調整後 排出量

29tCO2(▲5%)



216tCO2(▲5%)

216tCO2(▲5%)

基本方針

地域及び企業の環境事業と自然環境との適正な共生を目指した、循環型の社会システムを築き、美しい自然を次世代へ残してゆくことを新たな命題として、地球環境保全を目指すこと

具体的な取組



- 一定期間ごとのエネルギー使用量の把握
- 冷暖房期間の見直しによる使用エネルギーの削減
- 高効率照明設備への更新
- 高効率事務用・業務用設備への更新
- 温室効果ガス排出削減に関する役割分担・責任・権限を明確化した規程類・組織図の整備



- 全社的なエコドライブの目標管理
- エネルギー使用に関するデータの管理
- 整備・点検マニュアルに基づく日常点検
- 輸配送に当たり効率的なルートを選定と運転員への周知
- 電気自動車(EV)の導入

その他の取組

太陽光発電の設置検討を進める(50kW)

上代工業株式会社



KAMISHIRO

設立： 1971年11月
業種： 製造業
事業内容： エレベーター部品、金属加工品の製造
本社所在地： 川崎市高津区下野毛1-11-23
県内拠点： 本社、工場（川崎市）
URL： <http://www.kamishiro.co.jp/>
コメント： 脱炭素スクールで学んだことを生かして、環境に配慮した会社を目指します



計画の対象



工場等

計画期間

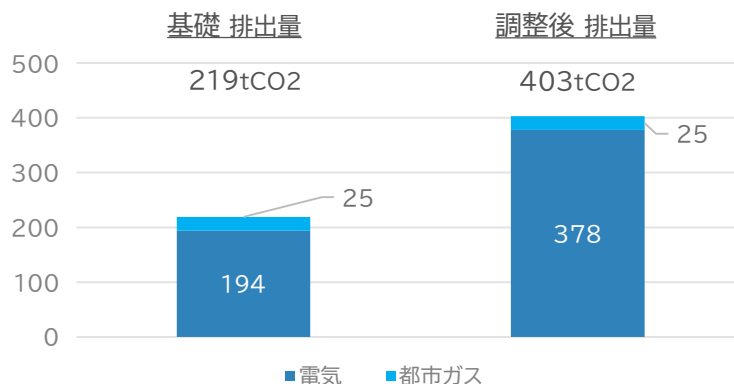
2024年度～2027年度

これまでの取組



- 空調の温度管理(夏28℃、冬20℃)
- 室内照明の間引きなど
- 照明の一部LED化など

基準年度のCO2排出量



目標 (排出量・削減率)



基礎 排出量

210tCO2(▲4.0%)

調整後 排出量

387tCO2(▲4.0%)

基本方針

2023年8月に改定(2008年12月発行)した自社環境方針に沿い、電気・ガソリンなどの削減による二酸化炭素削減、省資源活動としての3R(Reduce、Reuse、Recycle)、グリーン購入などを推進する

具体的な取組



- 一定期間ごとのエネルギー使用量の把握
- 冷蔵庫及び冷蔵庫周辺温度の適正管理
- LED化
- エアコン高効率機種更新
- 太陽光発電設置の検討

その他の取組

太陽光発電の設置検討を進める

亀井工業ホールディングス株式会社

設立： 2006年10月
業種： 生活関連サービス業、娯楽業
事業内容： 2か所の温浴施設の運営、介護施設の運営、飲食店の運営、その他委託業務関連
本社所在地： 茅ヶ崎市南湖1-4-25
県内拠点： 本社のみ
URL： <https://www.kamei.ne.jp/>
コメント： 地域社会の一員として、環境問題に取り組むことは私たちの責務です
社員はもちろん、お客様にも環境への意識を高めていただくきっかけを提供
していきたいです



計画の対象



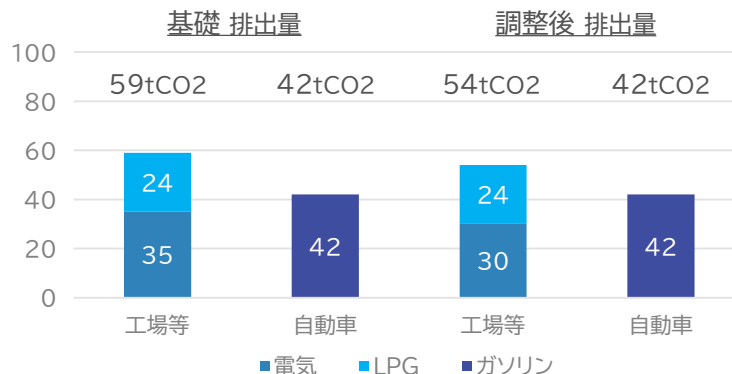
計画期間

2024年度～2027年度

これまでの取組

- 使用してない場所の消灯、空調の温度管理、断熱と複層ガラス窓への変更による節電
- 空調、照明設備の更新

基準年度のCO2排出量



目標 (排出量・削減率)

	基礎 排出量	調整後 排出量
工場等	56tCO2(▲5%)	51tCO2(▲5%)
自動車	40tCO2(▲5%)	40tCO2(▲5%)

基本方針

私たちは、かながわ脱炭素チャレンジ中小企業認証制度における脱炭素宣言に基づき各取組を行っていく
なお、これまでの具体的な取組としては、下記事項である

- 運用改善による省エネの推進
- 設備更新による省エネの推進

具体的な取組

- 一定期間ごとのエネルギー使用量の把握
- 冷蔵庫及び冷蔵庫周辺温度の適正管理
- 個々への情報の展開(節電の意識の徹底)
- 全社的なエコドライブの目標管理
- 自動車ごとの走行距離、給油量等把握
- 整備・点検マニュアルに基づく日常点検
- ハイブリッド車または電気自動車(EV)の導入

その他の取組

- 太陽光発電の設置検討を進める
- 再生可能エネルギー由来電力の購入検討を進める

医療法人社団守成会

設立： 2010年11月
 業種： 医療・福祉
 事業内容： 医療業、病院経営
 本社所在地： 相模原市緑区久保沢2-3-16
 県内拠点： 本社のみ
 URL： <http://www.hirose-hospital.com/>
 コメント： CO2排出量削減方法などについて理解するため、脱炭素スクールに参加しました



計画の対象



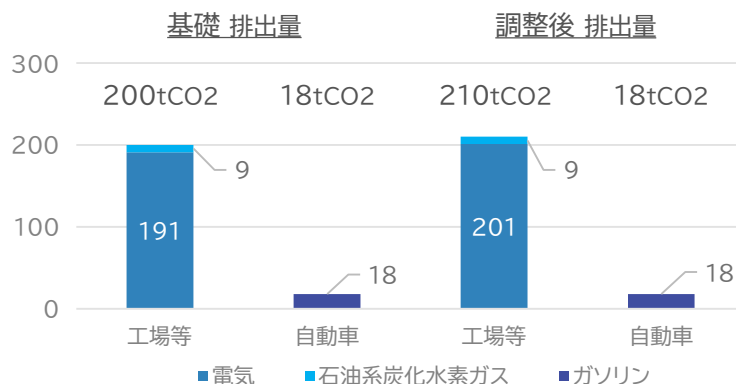
計画期間

2024年度～2027年度

これまでの取組

- エアコン高効率機種19系統更新
- 太陽光発電システムおよび蓄電池導入

基準年度のCO2排出量



目標 (排出量・削減率)

	基礎 排出量	調整後 排出量
工場等	194tCO2(▲3.0%)	204tCO2(▲3.0%)
自動車	17tCO2(▲3.0%)	17tCO2(▲3.0%)

基本方針

- 設備更新による省エネの推進
- 再生可能エネルギー発電・熱設備等の導入

具体的な取組

- 工場等 {
 - エアコン高効率機種更新
- 自動車 {
 - 自動車ごとの走行距離、給油量等把握
 - 電気自動車(EV)の導入(軽自動車)

その他の取組

再生可能エネルギー由来電力の購入検討を進める

設立： 1968年3月
 業種： 製造業
 事業内容： 電気メッキを主としたメッキ加工全般
 本社所在地： 大和市上草柳6-5-26
 県内拠点： 本社のみ
 URL： <https://takamura-kg.co.jp/>
 コメント： 脱炭素経営の基礎知識を学び社内に還元するために脱炭素スクールに参加しました



計画の対象



工場等



自動車

計画期間

2024年度～2027年度

これまでの取組

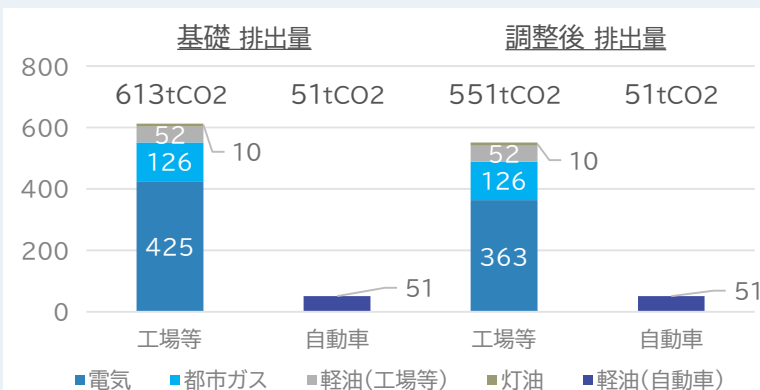


- ・ ボイラー配管の断熱、蒸気漏れの修復
- ・ 塩ビ配管の保温
- ・ コンプレッサーのエア漏れの修復



- ・ ボイラー・エアコン等の高効率機種への更新

基準年度のCO2排出量



目標 (排出量・削減率)



基礎 排出量

582tCO2(▲5%)



49tCO2(▲3%)

調整後 排出量

523tCO2(▲5%)

49tCO2(▲3%)

基本方針

私たちは、環境との調和が企業の社会的な責任であるという考えのもと、当社の事業活動が地球環境へ様々な影響を与える事を従業員ひとりひとりが認識して仕事に取り組みます。またISOのシステムを継続して改善し、そのパフォーマンスを向上させることにより、環境保護や省資源化に努力するとともに生物多様性や生態系保護活動に従業員が参画する事を奨励し、行動することに基づき各取組を行っています

具体的な取組



- ・ 一定期間ごとのエネルギー使用量の把握
- ・ 空調の消忘れ、1日の使用時間の見直し
- ・ ボイラーの配管の断熱・保温強化、蒸気ロス効率改善、塩ビ配管の保温
- ・ コンプレッサーのエア漏れの修復、エアホースの選定



- ・ 高効率照明への更新



- ・ SDGs推進グループを設立



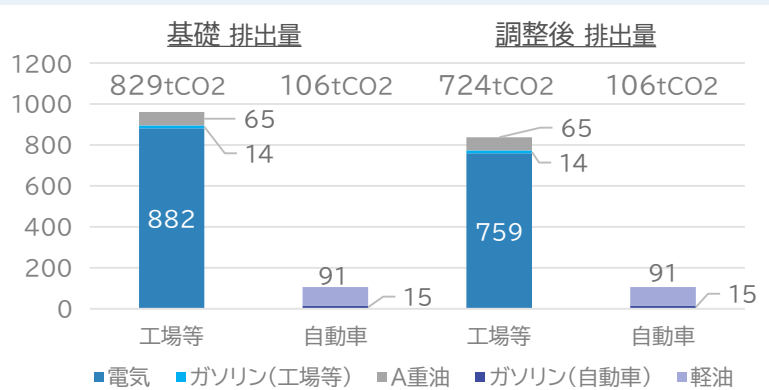
- ・ エコドライブの模範運転に取り組む
- ・ 配送ルートの再検討
- ・ 積載効率を高めるための積み合わせ輸送
- ・ 温室効果ガス排出量がより少ない自動車の導入

その他の取組

- ・ 太陽光発電の設置検討を進める
- ・ 再生可能エネルギー由来電力の購入検討を進める

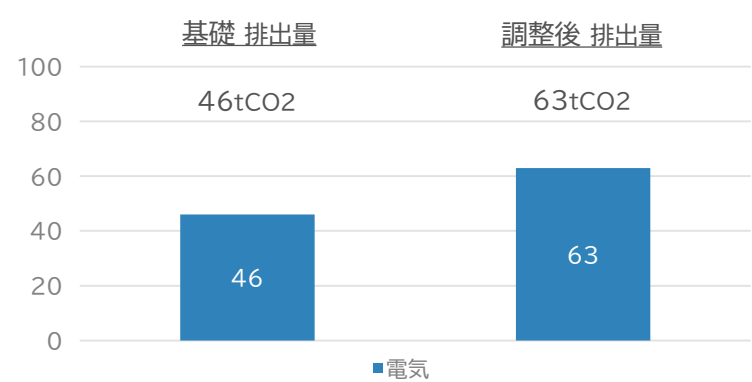
設立： 1971年4月
 業種： 製造業
 事業内容： 事務機器用品のリユース、リサイクル事業及び製造請負
 本社所在地： 南足柄市壺下350
 県内拠点： 本社のみ
 URL： <https://e-nankai.co.jp/>
 コメント： かながわ脱炭素チャレンジ中小企業認証を受け、取組を促進するため脱炭素スクールを受講しました



計画の対象	 工場等  自動車	目標 (排出量・削減率)	基礎 排出量  807tCO2(▲2.7%)  98.8tCO2(▲6.8%)	調整後 排出量 699tCO2(▲3.5%) 98.8tCO2(▲6.8%)
計画期間	2024年度～2027年度	基本方針	かながわ脱炭素チャレンジ中小企業認証制度における脱炭素宣言に基づき各取組を行っていく	
これまでの取組	- 空調の温度管理(夏28℃、冬20℃) - 大型生産設備について、稼働時間にONとなるようなタイマーを設置、天井裏に遮熱シート設置 - デマンド制御の導入による負荷平準化、照明の一部LED化、省エネ空調機器への更新	具体的な取組	- 残る照明のLED化 - 老朽化している空調について、省エネタイプへの更新 - 全社的なエコドライブの目標管理 - エネルギー使用に関するデータの管理 - 整備・点検マニュアルに基づく日常点検 - 輸配送に当たり効率的なルートを選定と運転員への周知 - 電気自動車(EV)の導入	
基準年度のCO2排出量		その他の取組	太陽光発電の設置検討を進める(190kW)	

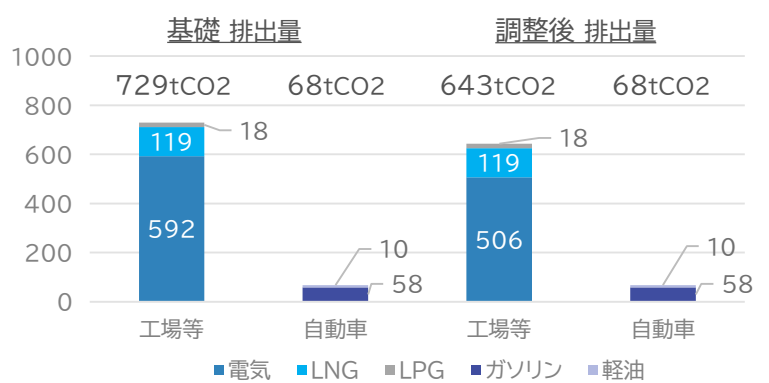
設立： 1967年7月
 業種： 製造業
 事業内容： 各種サイン製作、イベント造作物などその他金属加工品の製造
 本社所在地： 川崎市川崎区大川町7-2
 県内拠点： 本社のみ
 URL： <https://www.hizaki.jp>
 コメント： 今後の具体的な計画を策定するために今回、参加いたしました



計画の対象	 工場等	目標 (排出量・削減率)	 基礎 排出量 33tCO2(▲28.0%)	調整後 排出量 48tCO2(▲29.0%)			
計画期間	2024年度～2027年度	基本方針	2030年までに、Scope1およびScope2におけるCO2排出量実質ゼロへの計画に基づいて、取組を行っています				
これまでの取組	 - 昼休憩時の消灯  - EMS導入、LED化(事務所・工場)、省エネ型の加工機導入、デマンド装置導入  - 社外太陽光パネル設置(50kW)、蓄電池導入 - 省エネ診断受診	具体的な取組	 - SBT認証などの取得、エネルギーに関する人材教育 - 各機器の電力消費量とCO2排出量を把握し、事業活動に合わせた運用方法や設備の更新を計画				
基準年度のCO2排出量	基礎 排出量 調整後 排出量 				その他の取組	太陽光発電設備を設置予定(30kW)	

設立： 1960年5月
 業種： 製造業
 事業内容： 食品加工業
 本社所在地： 平塚市南金目227
 県内拠点： 本社、加工場(平塚市、伊勢原市)
 URL： <https://www.frieden.jp/index.html>
 コメント： 脱炭素経営の実現に向け、第一歩を踏み出すため脱炭素スクールに参加しました



計画の対象	 工場等  自動車	目標 (排出量・削減率)	 510tCO2(▲30%)  48tCO2(▲30%)	基礎 排出量	510tCO2(▲30%)	調整後 排出量	450tCO2(▲30%)
計画期間	2024年度～2027年度						48tCO2(▲30%)
これまでの取組	 使用時以外のこまめな消灯  ハイブリッド車の導入促進、人感センサー・LED導入  太陽光発電の導入	基本方針	- 運用改善による省エネの推進 - 設備更新による省エネの推進・外部からの再生可能エネルギーの購入 - 再生可能エネルギー発電・熱設備等の導入				
基準年度のCO2排出量		具体的な取組	  冷蔵/冷凍設備の適正管理  太陽光発電の導入   社用車の走行距離、給油量管理  ハイブリッド車・e-power車への切替				
		その他の取組	- 太陽光発電設備を設置予定(10kW) - 再生可能エネルギー由来電力の購入検討を進める				

設立： 2015年7月
 業種： 卸売業・小売業
 事業内容： 包装、物流資材機材製造、卸売、機械器具設置工事
 本社所在地： 小田原市鬼柳203-18
 県内拠点： 本社、小田原営業所、サービスセンター(小田原市)、山北工場(山北町)
 URL： <https://www.yamagishi.co.jp/index.html>
 コメント： 事業承継・事業継続等を考える中で、脱炭素の理解と省エネ対策への取組には、先ず社長が学ぶことが重要だと思い、スクールに参加しました



計画の対象



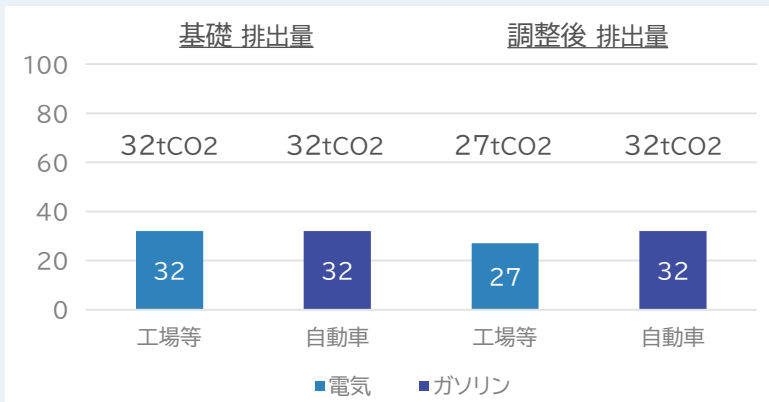
計画期間

2024年度～2027年度

これまでの取組

- 
 ・ 営業車の省エネ運転
- 
 ・ 照明のLED化、空調機器の更新、ハイブリッド車への更新
- 
 ・ 人工生産林木材の利用

基準年度のCO2排出量



目標 (排出量・削減率)

	基礎 排出量	調整後 排出量
工場等	27tCO2(▲16%)	23tCO2(▲15%)
自動車	31tCO2(▲3.1%)	31tCO2(▲3.1%)

基本方針

我が社は、より良い地球環境の保全に、社員一人ひとりが環境に配慮し社会との調和と共生を大切にして、あらゆる事業活動を展開いたします

具体的な取組

- 
 - 
 ・ エネルギー使用量の把握
 - 
 ・ 人感センサーの導入
 - 
 ・ 空調機器の更新
 - 
 ・ 高効率照明の導入
 - 
 ・ 空調機器の更新
 - 
 ・ 事務用機器の更新等
 - 
 ・ 温室効果ガス排出削減に関する組織の整備
- 
 - 
 ・ 社用車の走行距離、給油量管理等
 - 
 ・ ハイブリッド車への切替

その他の取組

- ・ 太陽光発電設備の設置検討を始める
- ・ 人工生産林の活用拡大